

# こくろう秋田

## つがる運輸区交流会開催

### 新しい体制で分会活動を



3月14日のダイヤ改正で大館運輸区と青森運輸区が廃止になり「つがる運輸区」に統合となりました。そのため盛岡地方本部に所属していた青森運輸区組合員が秋田地方本部所属となり、分会は「北奥羽連合分会」となりました。

北奥羽連合分会では6月15日に分会組合員8名、盛岡地本OB等8名、計16名で「つがる運輸区交流会」を開催しました。

前段にエルダー社員になる際に必要な手続きの資料を盛岡地本からの5名に渡し①会社提出するもの、②組合に提出するもの、③組合員本人の手続きが必要なものを説明しました。

分会の範囲は秋田県・青森県両県にわたることもあり分会の体制を整えるには、まだ、時間が必要と感じました。交流会で出された意見などは

①勤務の都合上、通勤列車がない為、大館・青森からの前泊が発生している。

②ダイヤ改正後、大きな輸送障害が、今のところないが、行路に余裕がない為、一旦発

国鉄労働組合  
秋田地方本部  
秋田市 中通  
7-2-21  
☎018-832-3775  
発行責任者  
佐藤浩一  
編集責任者  
編集部

生じた際の影響が大きくなりなにか心配。

③秋田で研修の場合、青森駅から列車がない、間に合わない為、前泊になる。

④秋田地本の体制がわからなかった。北奥羽連合分会の名前も後から知った。分会の組合員のエリアがわからなかった。

⑤地本からの祝金の披露。

⑥今後の分会活動については、当面、弘前地区、大館地区に分散で、できるところから活動。長期的には、分会体制を含め話し合いが必要という事で一致しました。

### 東能代駅はみどりの窓口から券売機対応へ

東能代の券売機については、東能代の社員が、鷹ノ巣駅や能代駅に向き実態を見聞きし、準備中。

以下、心配な点と現状  
①オペレーターの対応は、当初の10時から8時からに変更

で改善されたようです。  
②リゾートしらかみ号のボックス席は、サポートがないと発券不可。

③株主優待の対応で、当日の場合、例えば、東能代から、特急つがるで、秋田乗り換え、こまち号で東京は、特急つがるの発車間際は、優待券は、2枚必要と、MVは判断します。優待券の発券は、サポートしないとの説明なので、社員の気苦労がありそう。お客さまが東能代から秋田までは、無割りの特急券、乗車券・東能代から都区内・こまちの特急券を一枚の優待券で欲しい場合、乗車当日の購入時間に左右され、発券不可になる場合が、発生する。マルスと異なる。

④当務駅長、今現在、女性がいるが、一般社員の泊まりがなくなるので、単独での泊まりとなる。今現在、女性の単独泊まりは、東日本ではないと聞きますので、転勤が必要となりそう。当面、一般社員の泊まりは、残るが、ずっとかは、分からない。今後、似たような勤務体制の駅が増えると女性の管理者の職場が少なくなる。

⑤リゾートしらかみのボックス席の東能代駅の発券実績は、少ないとの話あり。

⑥現金券の払い戻しは一部可能だが、ポス入力が必要なものは一部不可。改札の交付資金をいくらにするか、検討している。

⑦MVの釣銭準備金、払い戻しもある為、検討している。みどりの窓口の準備金が7万円なので、当初同額との話だったが金種含めて検討している。払い戻しの為、一万札が必要。

⑧自駅の上り、下り列車の発車時間によって、指定席の発売ができなくなるか知る必要あり。階段を渡るかにより、例えば、上り2分、下り3分前まで等。

⑨一ヶ月前の前売り、10時10分から、オペレーターの操作と重なった場合、大休パス期間等、おそらく、現場の社員のサポートが必要となってくる。

行事予定	
7月18日	地本執行委員会
9月17・18日	国労全国大会
10月10日	国労東日本大会
11月7日	秋田地本大会